

肺の手術とはなにか

胸廓成形術をうける方々

胸廓成形術とは肋骨を切つて病巣をつぶす代表的なものです。手術は普通二回か三回に分けてやり、肋骨切除数は五本から八本ぐらいです。この手術による死亡率は非常に少く、織本病院の場合一八七例中零という成績です。手術時間は一時五分以内で早いときは四十分です。むとときもありません。さぞ痛いだろうと思ふ方もありますが、併用しますから半身麻酔に局所麻酔を起すので十分麻酔を使います。呼吸障害を起すので十分麻酔を使います。この麻酔は、虫垂炎(盲腸炎)の手術後より楽なくらいです。

手術の効果については患者さん御自身で随分研究なさつておられることでしょう。何れも申しませんが、要するに決して二週間ばかりの間に治癒するものではありません。この向も三十人ばかり手術後生れ変わったように元氣になつた人々と、当病院で祝賀会をやりましたが、私達の力がびつくりするくらい皆元氣で手術による人生への再起を遂げておられました。

皆さんも前途の光輝を見つめて手術をうけて下さい。

(当院副院長談)

身の廻り品には

何をもちてきたらいいか

入院、手術ときまれば一番先に何をもちていったらいいかが向題になります。オア一に心の準備もありません。仕事をきちつと整理すること、必要でしよう。当院としてもちてきてもらいたい品物は

一 履具、二 胸帯(サラシニ米程度)、三 氷枕か

氷裏、四 便尿器、体温計、五 湯タンポ、

六 吸呑、七 油紙、八 痰壺、九 マスク

そのほか今まで身の廻りに使つていらつしやつた物など

食事は病院備付けの食器で出しますから持つて来なくて結構です。とくに病室や廊下での炊事はかたく

禁じられておりますから、七輪など絶対に持つてこな

持ちようとする願ひは、小形の火鉢を暖房用としてお

持ち、他、附添婦を頼む場合は附添婦用のフトンが病院

にありませぬから何とかが都合して入院当日一緒に持

ち下さいます。手術前には十分諸検査を受ける必要がありますから指

定された予定日までに必ず入院下さい。

胸部疾患は永い斗病生活によつて始めて治癒するも静と栄養に注意して下さい。

# 入院・手術に要する

## 経費はどの位か？

健康保険・共済組合の組合員又はその家族、或は医療保護を受けている患者さんが当院に入院された場合、大体つきのような規準に従って色々な費用、立替金を負担してもらうこととなります。

### 入院料の計算

入院料は病室の種類によって三つに分れていきます。**健保・民生**で定められている入院料は一日百十円です。それより高い料金の病室に入った場合はこちらで部屋の差額を請求します。それから従って内支払い下さい。

病室	入院料	支払うべき差額
5号室	一〇〇円	不要
1・2・3号室	二〇〇円	九〇円
6・7・8号室	一五〇円	四〇円

### ペニシリンの補充

**健保・民生**の場合一回の手術に使うペニシリンの量は二〇万乃至三〇万単位と定められております。医師と相談してそれ以上使用しなければならぬ場合には必要なだけ患者さん自身で買ってきて病院に内渡し下さい。

薬局で購入される場合ペニシリン一〇万単位で約四〇円です。

### ストレプトマイシン

手術前後の状態によってストレプトマイシンを使用する場合があります。マイシンは当院にも配給があります。国立清瀬病院へ外未患者としていつても領けてもらえます。この場合患者さんは一本(二グラム)につき、三三〇円の実費を支払わなければなりません。この費用は現在のところ**健保・民生**からは支払ってくれません。患者さん自身で引出しになることとなります。

パスを使う場合も大体と同じです。

輸血料の立替目之

胸廓成形術を行う場合の輸血量は

オ一次手術に 一〇〇グラム

オ二次手術に 一〇〇グラム

合計二〇〇グラム

です。 他人の血を輸血してもらつた場合には一〇〇グラムにつきその場で六〇〇円乃至六五〇円を支払わなければなりません。但レこの料金は「治療材料費請求書」によつて健保や民生に請求することができまますから、患者さんがそれまで一時立替えて支払うことにならうわけです。

附添婦の費用

附添婦をつける場合は病院に依頼して下さい。

その場合附添さんに支払う一日の費用は

一人付き(一人で患者二人に附添う) 二八〇又は三六〇円

二人付き(一人で患者二人に附添う) 一八〇又は三〇〇円

三人付き(一人で患者五人に附添う) 一五〇又は一八四円

となつていきますから、直接附添婦さんに支払

(但し右料金は食事料を含む)

健保・民生の方は、「看護承認申請書」であとから附添費が支払われますから、その費用は一時立替えとなるわけです。

当院に予算があるときには、この附添費の一部を立替えられる場合もありますから、その時は事務と相談下さい。

附添婦の布團

附添婦さんは原則として患者さんから布團を借りて附添うことになつておりますから入院の際、その介をお忘れなくお持ち下さい。

食事

別紙の要領で異動をお持ちになれば病院で給食を致します。 病院のガスと炊事用に使うことは厳禁されていきますから、お湯をわかす程度以上には使わないで下さい。使った場合はあとからガス代を頂きに上ります。

### 織本病院の歴史

現院長が大正九年、当時無医村であつたこの地に外科医院を創設し、一般及び腹部外科の専門医として今日に致つたのでありまして、本年一月には開設三十週年の祝賀会をやりました。結核外科をやるようになったからはまだ三年しかたちませんが、その向ベツト六床から三十床に増床し、本年一月外科呼吸器科病院に昇格して今日に至つたのであります。

### その陣容と設備

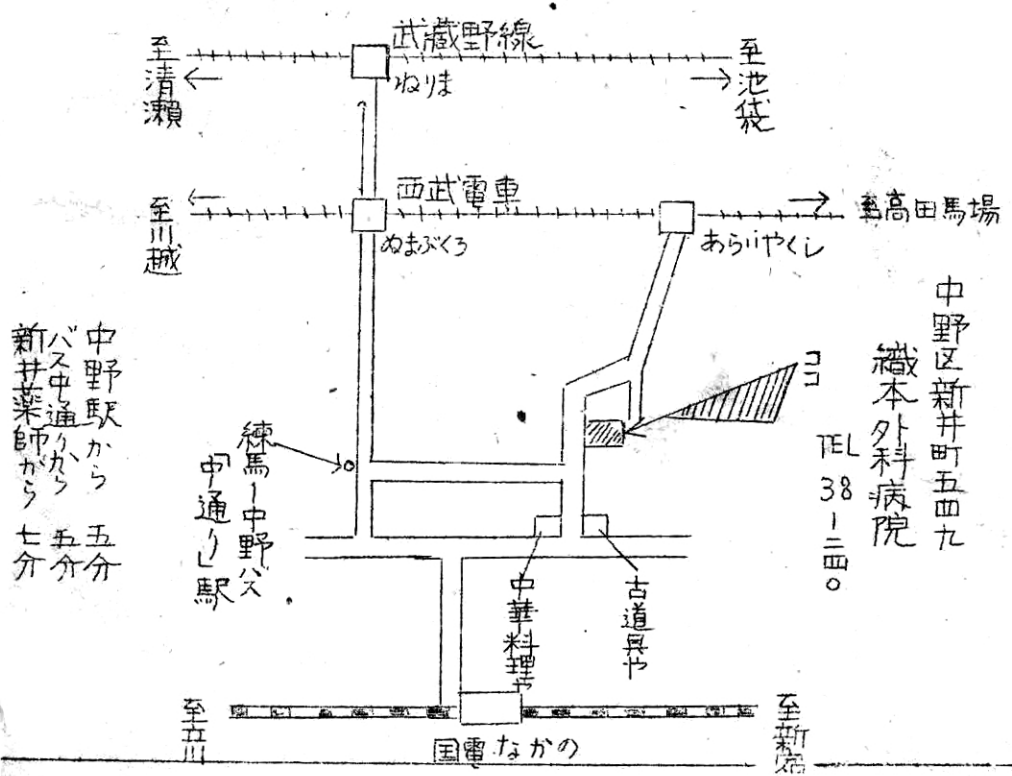
院長 織本 一雄

副院長 織本 正慶 (国立清瀬病院外科)

人工気胸及 福田良男 (全右)  
 療養指導 東原隼一 (全右)  
 神津克己 (全右)

平面撮影用レントゲン装置 壺基  
 断層撮影用レントゲン装置 壺基  
 移動撮影用レントゲン装置 壺基  
 その他 培養器、気管支鏡検査、瘰癧分取検査法等による諸検査設備 壺式

### 病院への略図



中野駅から五分  
 バス中野から五分  
 新井薬師から七分